

# 社員教育に投資をしながら、 社員の人間力と企業価値の向上を実現

## 株式会社 山崎文栄堂

### 会社概要

設立：1974年  
所在地：東京都渋谷区渋谷 3-17-2 清澤ビル7階  
資本金：1000万円  
従業員数：31名



オフィスアイテム通販事業、オフィスサポート事業、書類溶解処理事業、書類整理事業を柱に、お客様のオフィス業務を快適に進めることを目的としたサービスを提供しています。お客様の働く環境から働き方までオフィスにおける顧問の役割で、働きやすい環境づくりにお応えします。

働く社員がひとりの人として  
成長し続ける環境を作りたい



代表取締役社長  
山崎 登

働くことで少しでも楽しさや生きがいを感じられるように、人として成長できる機会を与えていきたいと考えています。

2010年ごろは会社を辞めていく人が後を絶ちませんでした。会社存続の危機を感じたそのとき、初心に立ち返り、改革を進めた株式会社山崎文栄堂。社員の気持ちに寄り添い、一人ひとりが輝ける場所を作るための取り組みを率先して行いました。どのようにして危機を乗り越え、会社が変わったのでしょうか。山崎社長にお話を伺いました。

## この記事のポイント

- ①社員と向き合い、笑い合える仲間と働く環境づくり
- ②他社と共に学ぶ「越境学習」で社員が成長
- ③社員全員で会社をつくる

## 一緒に笑い合える仲間と働きたい

——— どのような課題があったのでしょうか？

以前は、長い時間働く人、数字で結果を出す人、会社に身を捧げられる人がいい社員だと思っていました。とにかく自分自身が業務に追われる毎日で、社員同士のコミュニケーションをする暇はないと言いつつ、会社のために営業をして結果を出さなければと利益ばかりを求めていました。こうした状況から社員との間に少しずつズレが生じ、気づけば離職率 80 パーセントで、「辞めたい」と思われるような会社を作っているのは自分でした。

このままではいけないと思い、同じ経営者仲間相談して出会った経営者の学校、ワールドユアアカデミーで志（こころざし）経営を学びました。利益第一主義の考えを脱却し、一つの目的に向かって社長も社員も関係ない同等の関係を築きあげ、志を同じくする社員と一緒に笑い合える仲間として働く環境を作りたいと思いました。



# 越境学習で学びに幅を持たせる

変化が激しく未来の予測ができない現代においては、広い視野で学びつづけることが大切です。教えてもらえる環境がないのであれば、学べる場所を提供すればいいのではないかと考え、社会人として成長できる会社づくりを始めました。しかし、社内だけではできることが限られるため、今は仲間の中小企業と一緒に越境学習で若手社員を育成しています。ある社員は全く別業種の会社で研修生として働いていますが、別会社で学ぶことで、苦手なことであっても違う角度から多くのことを吸収できています。実際、戻ってきた社員は、他の経営者のもとで厳しさや新しい知識を身につけ、一回りも二回りも大きくなって帰ってきます。



## 越境学習が重要な理由

越境学習とは、社員が所属の垣根を越えて、異なる環境で新たな体験を通し、学びを得る活動です。異なる文化や価値観に触れることで新たな視点や発想を得ることができます。学びを得た社員の所属への還元や、モチベーション・パフォーマンスの向上が期待できるでしょう。



## フラットな関係をつくる



コミュニケーションをとる時間を確保するため、1on1面談を実施しています。シンプルですがメリット満載で、これはとても大切な時間です。社員との絆は確実に深まりますし、悩みを聞き、仕事以外の話をするうちに、上司・部下の距離もちぢまり、認識のズレなども取り除かれていきます。そうして、会社全体が話しやすい雰囲気になり、ちょっとしたことで相談しあえることで業務効率も上がります。

また、肩書きではなく、社員全員がニックネームで呼び合うことにしてから、本当にみんな仲間感覚が生まれて嬉しい限りです。私は山崎なので、新入社員からも「やまちゃん」と呼ばれています。ワンマン社長からコミュニケーションが取れる社長になるのは本当に時間がかかりました。

## 社員全員で会社を作りあげている意識

「社内では、上機嫌でいることをお互いに心掛けています。ちょっとしたミスで落ち込むことは誰にでもあります。上機嫌でいるために、気持ちをオープンに身近な人に相談をしたり、対話をしたり、きちんと休んだりしています。自分の機嫌は自分のためだけではなく、会社の空気感をよくするためだということを知りました。」と営業の清家部長。



お役立ち営業 部長  
清家 美奈



新しいことを始めるとき「なぜやるのか」を事前に一人ずつ説明していました。しかし、コミュニケーションが円滑になってからは、会社としての志がしっかりと全員に伝わっているため、実行までのスピードが格段に速くなりました。一人ひとりに言わなくても、最初から全員が理解しようとしてくれているので、仕事が効率よく進められるようになったと思います。また、全員が前向きに考えてくれるようになりました。会社の風通しもよく、明るくなったので、コミュニケーションをとることがいかに大切かを痛感しているところです。

# 会社と世の中のためにできること

## 社員教育についてどのように感じていますか？

「会社が社員の成長に期待をして研修に力を入れています。それは私に多くの時間とコストをかけてくれているということです。今は月に一度、社会貢献活動を共に行う「ヒーローズクラブ」にて日本の現状を知る勉強会に参加しています。その先には会社のためにそして世の中のために私に何かできることがあるのではないかと。そのようなことを自然と考えるようになり、今では仲間と共に日本の未来のために今よりも少しでも良い日本になっていくようにできることとして、社会貢献にも積極的に取り組むようになりました。」(清家部長)



## Message

### 社会のお役に立つ企業を目指す

「人」に投資をすることで、会社に貢献してくれる社員はあっという間に増え、世のため人のためになることをしたいと考える私の理念に共感してできるようになりました。今では、同じ志をもつメンバーに恵まれ、全員で同じ大きな目標に向かって進み、社員も会社も成長しているという実感を得ています。「人」を大切にすることは、会社の利益に直結していくのです。

日本という国は昔から人と人が助け合い、協力しながら成長してきた国です。日本企業の99.7%は中小企業と言われています。ひとつひとつは小さいけれど、助け合い、協力すればきっと大きな力になる。私たちはとにかく同じ志をもつ者で、会社を、社会をよくしていきたいと思っています。それは未来の子供達が笑顔で暮らすためでもあります。これからも社員や仲間と共にさまざまな体験をし、真実を見極める力を養い、歩みを止めずに人として会社として成長を続け、日本の中小企業の幸せに貢献していきます。